

「技能実習生の紹介」

業務課 西尾

以前にも業務課黄金世代のリーダーと言われる三浦くんから実習生の着物イベント紹介がありましたが、今回はもう少し深掘りしたものを紹介しようと思います。

現在、当社で勤務している実習生は業務課28名、成形課23名の合わせて51名が配属され勤務しています。

全員「タイ王国」の女性が在籍中で、日本の法律とか会社の方針や各課でのルールなどいろんな決め事がある中、少しづつ必死に学びながら対応してくれています。

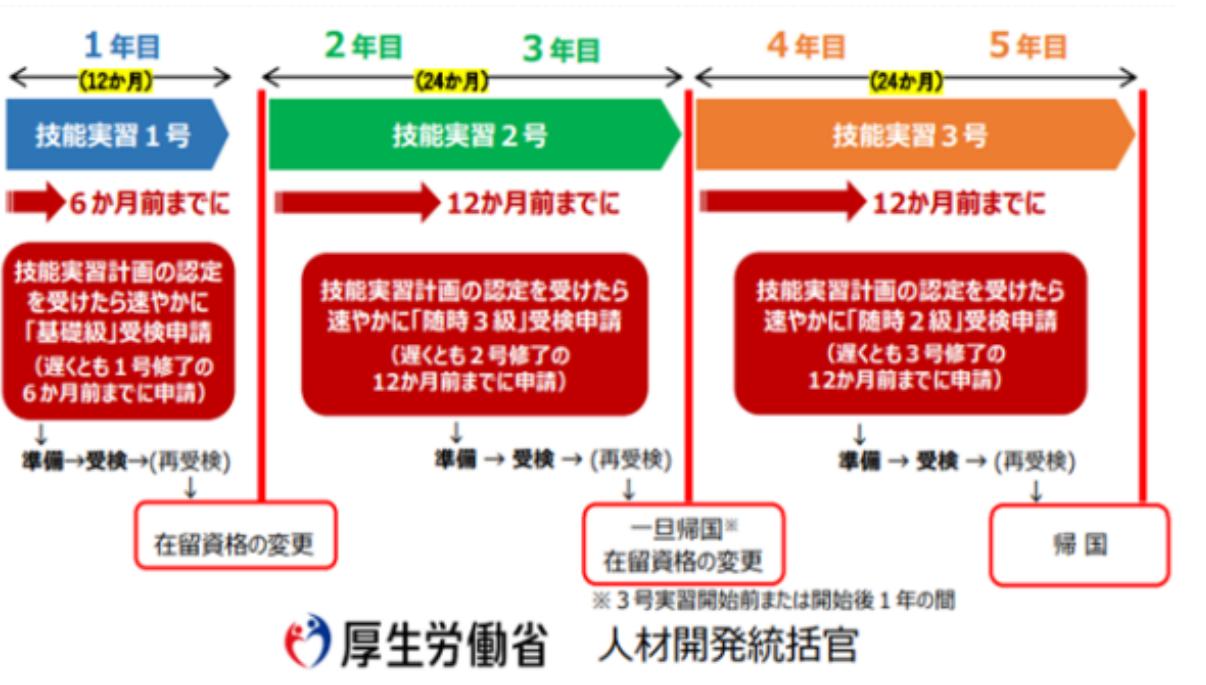
自分だったら言葉も文化も違う国で暮らしていく自信が無いので、とてもすごいなと感心するし、尊敬もしています。

技能実習生の目的は「**日本の技術や技能を母国に持ち帰り、母国の発展に寄与すること**」ですが、そのためにも技能検定に合格する必要があります。

○第1号技能実習の目標：基礎級の学科試験、実技試験に合格すること

○第2号技能実習の目標：随時3級の実技試験に合格すること

○第3号技能実習の目標：随時2級の実技試験に合格すること



技能試験に向けての練習風景



そして、その名の通り学んだことを「タイ」に持ち帰り、タイ工場のSKCでも存分に力を発揮してくれている子もいます。

これは昨年の業務課忘年会での話ですが、日本に来日し当社に勤めて10年を迎える現在の制度的に完全帰国（タイに帰国）しないといけない年となる実習生の1人に

「日本が好きです。帰りたくない、ずっと日本にいたい・・・」と上手な日本語で伝えられ私も酔っていたせいか、その瞬間に涙が出そうになったのを覚えています。

日本を、柿原をこんなに好きでいてくれているんだなど、、、

最近では長期連休を活用して、新幹線やホテルなど自分たちで予約して旅行を楽しんでる実習生も多くみられます。

また、柿原では技能実習生に日本の文化や歴史を学んでもらうため着物イベントや社員旅行、野外活動サークルなどにも参加してもらい、テントを立てたりバーベキューをしたりと貴重な経験と共に楽しい思い出を作ってもらったりもしています。

昨春に行われた着物イベント



何より頼もしく感じているのは、特別な理由がない限り仕事も休まないし遅刻をすることもなく、歴代の先輩実習生たちが次に入ってくる実習生にしっかり教育し、引継ぎをしてくれるというシステムが確立されているので大変助かっています。

最後に技能実習生へ

日々、生産への対応ありがとうございます。

これからもしっかり日本語を勉強して、日本を学び、年2回実施される日本語能力試験を受講してスキルアップを目指してください。

そして、これから柿原工業やタイ工場SKCの発展にご協力よろしくお願いします。